第８回補助金等適正化推進協議会議事録

１　日　時　令和８（２０２６）年８月６日（木曜日）午後６時３０分から午後８時３０分まで

２　場　所　柏崎市役所１階　多目的室

３　出席者

⑴　委　員　小川会長、近藤副会長、阿部委員、大橋委員、斎藤委員、遠山委員
（欠席委員なし）

⑵　事務局　財務部長、財政管理課長、財政係長、財政係員

４　概　要

第１回から第７回までに個別の評価を行った２１９件の補助金・負担金について、各委員による評価結果を踏まえ、事務局が暫定的な総合評価（以下「暫定評価」という。）を事前に実施し、これを原案として委員間協議によって総合評価を確定した。

５　議　事

⑴　議事録確認

第７回議事録の内容について確認いただき、修正の有無を聞き取る。事務局からの修正を反映し、ホームページに掲載する。

（以上について、質疑なし）

⑵　総合評価について

①　総合評価の進め方について

事務局による暫定評価は、Ａ「現行のまま継続」、Ｂ「見直した上で継続」及びＣ「廃止の方向で検討」の３つの評価区分とし、第８回の協議会ではＢ評価及びＣ評価とした補助金・負担金について評価し、総合評価を確定する。これ以外にＡの中である程度委員の評価の方向性が明確に分布されているもの及びＡの中で委員の意見が多岐にわたるなど、再協議を要するものについては、第９回の協議会で集中評価することとする。

（質疑なし）

②　委員による総合評価

・大学との連携事業負担金（企画政策課・負２・暫定評価Ｂ）

委　　員　　市内の大学であるが、一法人であるので、大学が努力すべきであると考える。

【評価結果】　　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、費用対効果を検証することを記載する。

・柏崎リーダー塾事業負担金（企画政策課・負３・暫定評価Ｃ）

委　　員　　柏崎リーダー塾卒業生の進路やその後の活動など事業の効果検証を

していただきたい。

委　　員　　開催頻度を毎年ではなく、間隔を広げてもよいのではないか。

委　　員　　見直しの意見が多いので、Ｂ評価で良いと判断する。

【評価結果】　総合評価をＢ評価に変更し、確定する。理由・意見等として、効果検証を行うこと、また、毎年ではなく、開催間隔を広げられないか検討することを記載する。

・友好都市交流負担金（商業観光課・負１５・暫定評価Ｃ）

委　　員　　当面の間、負担する予定がないのであれば、廃止してもよいと考える。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＣ評価に確定する。理由・意見等として、当面負担予定がないのであれば、廃止すべきであることを記載する。

・じょんのび村経営支援負担金（商業観光課・負２４・暫定評価Ｂ）

委　　員　　黒字化するまで負担し続けることは期間が曖昧なので、終期を設定すべきではないか。

委　　員　　存続してほしい施設であるとともに、負担し続けることに疑問がある。

委　　員　　本施設に限らず、行政からの支援がないと厳しい状況になる施設は他にもある。

委　　員　　新社長になり、経営努力していると聞いている。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、黒字化の目標年度と負担終了の条件を明示化すること、長く存続してほしい施設として、更なる経営努力に期待することを記載する。

・技術開発振興協会負担金（ものづくり振興課・負２５・暫定評価Ｂ）

委　　員　　約４０年間負担し続けているので、内容を今一度見直す必要があるのではないか。

委　　員　　場合によっては、減額することも考えていただきたい。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、負担金の必要性を分析し、場合によっては減額を検討することを記載する。

・高校生インターンシップ支援事業負担金（ものづくり振興課・負３０・暫定評価Ｂ）

委　　員　　インターンシップは自社で対応すべきであると考える。

委　　員　　担当課の説明の中で、本負担金を必要としている企業があるとのこ

とであった。

委　　員　主に製造業が本負担金を活用している状況である。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、製造業だけでなく幅広い業種から受け入れてもらうよう、周知、利用促進を図ることを記載する。

・秋の収穫祭負担金（農林水産課・負４２・暫定評価Ｂ）

委　　員　農協など他の団体も負担しているので、市の負担額を下げてもよいと考える。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、市の負担割合が高いため、収支を踏まえ、減額に向けた検討を進めることを記載する。

・さけます増殖事業協会負担金（農林水産課・負４４・暫定評価Ｂ）

委　　員　目標と現状が乖離しているため、現状の見直しが必要であると考える。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、目標値から乖離しているため、現状を見直し、ゼロベースも含め検討することを記載する。

・柏崎港おさかな祭り実行委員会負担金（農林水産課・負４５・暫定評価Ｂ）

委　　員　開催規模が縮小している中で、定額負担とするのは、負担額を見直すべきではないか。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、開催規模に応じた適正な負担金額を設定することを記載する。

・おさかな普及協議会負担金（農林水産課・負４７・暫定評価Ｂ）

委　　員　繰越金が多いので、負担額を見直すべきではないか。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、繰越金の状況を踏まえ、負担金額の見直しを行うことを記載する。

・市内私立大学学生募集支援事業補助金（企画政策課・補１・暫定評価Ｃ）

委　　員　本来、学生募集は、大学の自助努力によるべきであると考える。効果検証を続けた上で継続することでよいと考える。

【評価結果】　総合評価をＢ評価に変更し、確定する。理由・意見等として、本来、学生募集は大学の自助努力によるべきであるが、大学の公益的側面に

配慮し、効果検証を継続することを記載する。

・新潟工科大学産学交流会奨学金寄附金（企画政策課・補２・暫定評価Ｂ）

委　　員　本寄附金を受けた方は、卒業後、本市の人口増加や人材活用に寄与していただきたいと考える。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、学生が市内に定着しているのかフォローアップ調査を行うことを記載する。

・ユニバーサルデザインタクシー導入促進補助金（企画政策課・補７・暫定評価Ｂ）

委　　員　ユニバーサルデザインタクシーの導入台数はどのような状況か。

事　務　局　導入している台数はまだ少なく、本補助金はユニバーサルデザインタクシーの普及促進を図ることを目的としている。

委　　員　少額でも補助を必要としている事業者があるので、必要な補助金であると考える。

【評価結果】　総合評価をＡ評価に変更し、確定する。

・結婚活動支援補助金（子育て支援課・補１６・暫定評価Ｂ）

委　　員　廃止してもよいと思うが、新潟県の事業であり、他市が補助している状況を踏まえ、どのように評価するか。

事　務　局　補助内容は新潟県の婚活マッチングシステムの入会登録料を補助するものであり、県内２６市町村全てが補助している状況である。

委　　員　今後も利用促進を図っていただきたい。

【評価結果】　総合評価をＡ評価に変更し、確定する。

・市政協力報償費（市民活動支援課・補２８・暫定評価Ｂ）

委　　員　報償期間は５年ではなく、短くしてもよいと考える。

委　　員　他市町村は同様の補助金はないとの説明があった。

事　務　局　本補助金により合併を促したいという意図もある。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、報償期間について５年が適切かどうか検討することを記載する。

・コミュニティ管理運営事業補助金（市民活動支援課・補２９・暫定評価Ｂ）

委　　員　指定管理制度を実施しているのであれば、指定管理料の中で人件費を補助すべきであると考える。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、人件費は補助金ではなく、指定管理料の中で支出すべきであり、

支払方法を検討することを記載する。

・ＥＣＯ２プロジェクト補助金（環境課・補３８・暫定評価Ｂ）

委　　員　利用率が低いので、広報や周知に力を入れるべきであると考える。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、利用促進を行い、それでも効果が上がらない場合は、終期を待たず廃止を検討することを記載する。

・電気自動車等購入補助金（環境課・補３９・暫定評価Ｂ）

委　　員　購入者は、環境配慮よりも経費削減を目的にしている思うため、廃止してもよいと考える。

委　　員　国からの補助もあるとの説明があった。

委　　員　他市町村の状況はどうか。

事　務　局　新潟市、長岡市、上越市、三条市、新発田市、燕市は実施していない。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、効果検証を行い、補助を継続すべきか検討することを記載する。

・行旅人応急援護費（福祉課・補５９・暫定評価Ｂ）

委　　員　社会福祉協議会に移管してもよいと考える。

委　　員　実績はどのような状況か。

事　務　局　令和７（２０２５）年度は１７件、令和６（２０２４）年度は１件、令和５（２０２３）年度は１６件である。

委　　員　他市町村は自治体と社会福祉協議会のどちらが所管しているか。

事　務　局　新潟市、三条市、燕市は社会福祉協議会、長岡市、上越市、新発田市は自治体が所管している。また、社会福祉協議会に移管すると同額もしくはそれ以上の経費がかかる可能性がある。

【評価結果】　総合評価をＡ評価に変更し、確定する。

・重度心身障害者等紙おむつ購入助成費（福祉課・補６６・暫定評価Ｂ）

委　　員　増額すべきという意見が多く、物価高の状況を踏まえた金額設定にすべきであると考える。

【評価結果】　総合評価をＡ評価に変更し、確定する。理由・意見等として、物価上昇に伴い、必要に応じて補助金の増額を検討してもらいたいことを記載する。

・骨髄等移植ドナー支援事業助成金（健康推進課・補８５・暫定評価Ｂ）

委　　員　　必要な補助金であると思うので、増額すべきであると考える。
委　　員　　併せて広報などを通じた利用促進を図っていただきたい。
【評価結果】　　総合評価をＡ評価に変更し、確定する。理由・意見等として、広報などを通じ利用促進を図ってもらいたい。あわせて、必要に応じて補助金の増額を検討してもらいたいことを記載する。

・どんＧＡＬＡ！祭り補助金（商業観光課・補９１・暫定評価Ｂ）
委　　員　　年々祭りの規模は縮小していると聞いており、必要な補助金であると考えるが、一部の効果しか得られていないと考える。
委　　員　　他の祭りとタイアップすることも考えたが、現実的ではない。
委　　員　　楽しみにしている方はいるので、継続すべきである。
委　　員　　踊り手側は楽しいと思うが、見学される方が少ない印象である。
【評価結果】　　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、効果検証をした上で、補助内容を精査することを記載する。

・ものづくりリーディングカンパニー成長投資助成金（ものづくり振興課・補９３・暫定評価Ｂ）
委　　員　　手厚い補助と感じており、自社で対応すべきであると考える。
委　　員　　インターン関係すべてに通じることだが、営利を目的しているため、自社で対応することが望ましい。
【評価結果】　　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、効果検証をした上で、補助内容を精査することを記載する。

・オープンファクトリー受入補助金（ものづくり振興課・補９５・暫定評価Ｂ）
委　　員　　補９３と同様、自社で対応すべきであると考える。
委　　員　　初年度なので、実績と効果を注視していただきたい。
【評価結果】　　総合評価をＡ評価に変更し、確定する。理由・意見等として、初年度の交付状況と効果検証を踏まえ、補助内容・補助率の妥当性を検討してもらいたいことを記載する。

・ＩＴ商品開発支援補助金（ものづくり振興課・補９７・暫定評価Ｂ）
委　　員　　同様に自社で対応すべきであると考える。
委　　員　　補助金額は妥当であると考える。
委　　員　　実績が毎年１件に留まっているので、利用促進を図っていただきたい。
委　　員　　ものづくり関連の補助金は必要であると考えるが、優遇されている印象を受けるので、必要に応じて補助内容の見直しや効果検証をして

いただきたい。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、利用促進を図ること、効果検証を踏まえ、必要に応じて補助内容（補助率、補助上限額）を見直すことを記載する。

・自動車・環境エネルギー産業等参入支援補助金（ものづくり振興課・補９８・暫定評価Ｂ）

委　　員　市民福祉の向上につながっているかは、疑問である。また、補助金額の見直しは必要であると感じた。

委　　員　利用実績は、どのような状況か。

事　務　局　令和７（２０２５）年度は、本調書作成時点で４０件の見込み、令和６（２０２４）年度は２１件である。

委　　員　金額が大きいので、効果や必要性を整理していただきたい。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、効果検証を踏まえ、予算規模が適切かどうか検討することを記載する。

・障がい者トライアル雇用助成金（商業観光課・補１０７・暫定評価Ｂ）

委　　員　国からの補助もあるので、廃止にしてもよいと感じた。

委　　員　本市は、法定雇用率を達成していないなので、雇用に対する意識を高めるために広報や周知活動を見直すべきであると考える。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、法定雇用率達成に向けた周知活動を行い、利用促進を図ることを記載する。

・商業活性化イベント事業補助金（商業観光課・補１１２・暫定評価Ｂ）

委　　員　本市の補助割合が高いので、フォンジェ内のキッズマジックを有料化にするなどにより、補助金額を減らしてもよいと考える。

委　　員　補助金額の見直しと新たな取組を考えていく必要があると考える。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、新しい取組に力を入れるとともに、補助金額が妥当かどうかを検討することを記載する。

・商工会議所補助金（商業観光課・補１１３・暫定評価Ｂ）

・商工会補助金（商業観光課・補１１４・暫定評価Ｂ）

委　　員　２つの補助金は事業費に対する補助額の割合が低水準であることから、実効性と必要性の効果検証を求める意見が多いため、２つの補助

金は同様の総合評価としたい。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、効果検証を行い、必要に応じて額の見直しを図ることを記載する。

・米山プリンセス土づくり支援事業補助金（農林水産課・補１２５・暫定評価Ｂ）
・米山プリンセス機械整備支援事業補助金（農林水産課・補１２６・暫定評価Ｂ）
・米山プリンセス土壌診断支援事業補助金（農林水産課・補１２８・暫定評価Ｂ）

委　　員　いずれの補助金も米山プリンセスの知名度や継続の可否に対する意見が多いため、同様の総合評価としたい。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、米山プリンセスの知名度向上に向けた取組を進めるとともに、効果検証を行い、継続の可否を検討することを記載する。

・循環型農業推進事業補助金（農林水産課・補１３０・暫定評価Ｂ）

委　　員　肥料が高騰している状況を含め、実態に応じた補助金額にする必要があると考える。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、実績に即した金額の見直しを検討することを記載する。

・林業従事者雇用促進支援事業補助金（住宅支援）（農林水産課・補１３３・暫定評価Ｂ）

委　　員　近年は実績がないため、廃止にしてもよいと考える。

委　　員　補助率は適切であると感じた。廃止ではなく、利用促進に向けた取組が必要と考える。

【評価結果】　暫定評価を承認し、総合評価をＢ評価に確定する。理由・意見等として、新規雇用促進に向けた取組を進めること、効果検証を行い、必要に応じて補助内容等を見直すことを記載する。

・柏崎産材の家づくり支援事業補助金（農林水産課・補１３６・暫定評価Ｂ）

委　　員　本補助金があることで、柏崎産材木材を利用する方が一定数あると考える。

委　　員　令和８（２０２６）年度に新設した補助金なので、今後の実績を基に効果検証していただきたい。

【評価結果】　総合評価をＡ評価に変更し、確定する。理由・意見等として、初年度の交付状況と効果検証を踏まえ、補助内容・補助率の妥当性を検討してもらいたいことを記載する。

・家財道具等処分支援事業補助金（建築住宅課・補１４２・暫定評価Ｃ）

委　　員　　担当課が廃止の意向を示しており、その理由は正当であると判断し、総合評価は廃止の方向としたい。

【評価結果】　　暫定評価を承認し、総合評価をＣ評価に確定する。

・奨学金償還補助金（教育総務課・補１４３・暫定評価Ｃ）

委　　員　　担当課が廃止の意向を示しており、その理由は正当であると判断し、総合評価は廃止の方向としたい。

【評価結果】　　暫定評価を承認し、総合評価をＣ評価に確定する。

⑶　報告書の内容・構成について

報告書は、補助金等評価の対象と評価の経緯、評価の視点、補助金等評価結果及び今後の補助金制度の在り方によって構成し、それぞれ具体的な説明や内容について記載する。

６　その他

事　務　局　⑴　第１０回の協議会は９月３日（木曜日）であったが、９月２日（水曜日）へ変更となる。

⑵　次回協議会：８月２０日（木曜日）午後６時３０分から

市役所１階　多目的室１，２

議　　事：総合評価及び報告書（案）の内容に係る討議